



広島文教大学 附属高等学校

【所在地】広島市安佐北区可部東1-2-3
【TEL】(082) 814-3192 (代)
【校長名】河田 敦之
【ホームページ】<http://www.h-bunkyo.ac.jp/highschool/>

令和2年度 生徒募集要項

- 募集人員 普通科：160名(女子)
- 試験日・試験科目
【推薦入試】2月4日
国・英・数3教科 面接(選考方法により実施する。)
- 【一般入試】2月18日
国・英・数3教科
- 配点
【推薦・一般入試】
英語 50分 100点
数学 50分 100点
国語 50分 100点
合計 150分 300点
内申点 点
- 面接
【推薦入試】
選考方法により実施する。
面接形式 個人面接
面接時間 約10分
質問内容 志望動機、将来の目標、中学校時代の主な活動活動などについて
- 合格発表
【推薦入試】2月7日 【一般入試】2月21日

調査書等の提出書類と入学試験の結果を総合的に判断して合格を決定します。

心を育て 人を育てる

創設者武田ミキの教育理念である「心を育て 人を育てる」が教育活動全般に浸透しており、卒業時には社会で通用する礼儀作法が身につくと言われる。これからの時代を見通した最先端の教育に取り組んでいる。

「留学の文教」

中期留学制度を導入。生徒の目的や希望に応じてニュージーランド、カナダ、アメリカなどから留学先をコーディネート。

「英語の文教」

英語教育に力を入れている。ネイティブ教諭による少人数英会話指導で、英語力を飛躍的に伸ばすチャンスもあり。英語使用が原則の英語交流スペース「BELS」の活用など、様々な場面で英語に触れる機会を提供

「ICTの文教」

志望動機、将来の志望、中学校時代の主な活動などについて
約7分、面接の先生2人
タブレット端末を1人1台使い、授業・家庭学習で活用。教室には電子黒板機能付きのプロジェクトアを完備。最新機器で学習をサポートする。

学校情報

Aコース

- スーパー選抜クラス
東大・京大など最難関国立大学や、医学部への合格を目指す。中期留学などを通じて、インターナショナルな人材を養成する。
- 進学選抜クラス
広大などの有名国公立大学や難関私立大学への合格を目指す。

教育者育成コース

- こども教育クラス
広島文教大学に内部進学し、高大連携による7年一貫教育で優れた教育者を育成する。

Bコース

- 総合進学クラス
充実したキャリア教育を通して、大学・専門学校・就職など幅広い進路に対応する。
- スポーツ・カルチャークラス
単位制で、文武両道を軸に、一芸に秀でた多様な有能な人材の育成を目指す。

受験方式の特徴

特徴的な入試方法として、推薦・特別専願方式がある。この方式は、多くの受験生・保護者からのニーズに応えたもので、受験生は安心して選抜Ⅱ入試に向けて集中できると好評である。受験は推薦入試の方が圧倒的に有利である。

また、英語検定3級以上の取得者は入試で優遇される。

進学状況

近年、国公立大学への進学実績を着実に伸ばしている。また、早稲田大学、同志社大学などの難関私立大学への合格者が増加している。

また、附属高校から広島文教大学への進学は他の高校から受験するより圧倒的に有利であり、希望者は指定校推薦によりほぼ全員が進学できる。本大学も就職状況は非常に良好であることを見れば、附属高校生の特典はかなり大きいものがある。

「ぶんきょう奨学生」「ぶんきょうクラブ奨学生」「特待生」制度あり

武田学園優遇措置

武田学園設置校に、兄弟姉妹が在籍していたり、保護者や兄弟姉妹が卒業生である場合には、入学後に入学手続金・入学金の半額が給付される。また、広島文教大学進学の際は、入学金の半額が給付される。

アクセス

スクールバスがJR可部駅、JR下深川駅、JR・アストラム大町駅から運行されている。自転車通学生以外のほとんどの生徒が利用している。クラブ活動後も利用できる。通学にはかなり便利である。

(あさひ塾西原教室：岡村)

平成31年度 入試結果

入試結果

《普通科》	【推薦入試】	【一般入試】
●受験者数	242名	68名
●合格者数	242名	68名
●入学者数	103名	14名

大学の合格実績

【現役生】159名中

国公立大	7名	私立大	130名
短大	14名	専門学校	38名

テスト結果

●受験者平均点

英語	30.2点 (100点満点)
数学	50.3点 (100点満点)
国語	66.7点 (100点満点)
合計	147.2点 (300点満点)

系列学校

広島文教大学